



地域ざさえあい通信

# ふくしのおたより

丹波市社会福祉協議会  
市島支所 ☎85-0517

2023 9月号

## 「フクシイイン」って何ですか？と思いました

～社協広報紙9月号で福祉委員活動について掲載～



前山地区の荻野昌彦さんの活動を紹介しています。

今年の4月から福祉委員となられ、どんな活動をする役なのかと思われたそうです。

自治会には前任者が福祉委員として行った活動ノートがあり、それを見て参考にされました。

ふれあいサロンの担当としても、自分のできることをしようと訪問活動を考えられました。

## 声かけは特別な活動ではないし、5秒でできます！

見守りや声かけはいざするとなると勇気がいりませんか？

荻野さんは、地域で出会った人にあいさつのついでに、「元気にしてる？」という声かけをされています。

そうしていくと自然に話がつながっていくそうです。

また、民生委員児童委員の時に始められた通学路の草刈り活動を、現在も継続されています。

今年の暑さのなかでも活動されていると、同じ福祉委員の方から飲み物の差し入れや、地域の方から草刈り活動の支援があり、「嬉しかったです！」と話してくださいました。



## 8/29、8/30 ふれあいきいきサロン研修会を開催

サロン運営の困りごとの解決に向けて、実際の相談事例から意見交換を行いました。



共通の悩みごとなどについて話が弾み、サロン運営のコツが発見できたこともありました。

また脳トレと簡単な動きを組み合わせた運動の「ライフキネティック」の講習を行いました。

実際の体験では、あちこちで笑い声が響いていました。

## 今年も赤い羽根共同募金にご協力お願いいたします (10/1~3/31)

厚生労働大臣の告示で全国一斉に行われ、福祉の施設や活動、災害準備金に活用されます。家計ご負担の多いなか、どうか温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

赤い羽根は「助けあい」「思いやり」などの意味が込められており、共同募金のシンボルとなっています。

詳しくは今月の赤い羽根共同募金の広報紙をご覧ください。



## 8.26 前山地区 いつせ支え合いの会で研修会開催



災害時の判断に迷う事例をゲームにしたクロスロードを取り入れ、それぞれの自治会の事情などを笑いを交えて気軽に意見を交換しながら、深く話し合える機会となりました。

丹波市豪雨災害から来年で10年を迎えます。前山地区のいつせ支え合いの会では、地域の支えあいを見つめた結果、防災の見直しと、支援者の連携が大切であるという意見が出ました。

地域のなかで支援者同士の顔を知っておこうと自治会長、民生委員児童委員、福祉委員など合同で開催されました。



### 支えあい推進会議…

人口減少と少子高齢化の社会のなか、地域で困りごとを話し合う仕組みづくりを行っています。市島地域には5地区にあり、会議の名前も様々です。

お知らせ

いちじま福祉バザーINいきいきフェスタ2023

日時:11月5日(日) 午前11時~13時 または売切次第終了  
場所:ライフピアいちじま 雨天決行

\*詳しいことは来月号以降でお知らせします

4年振りです！